

普及現地情報



発信年月日：令和6年(2024年)1月18日

所属名：湖東農産普及課

番号：F23030

部門分類：150 野菜

発信者名：宇野

JA 東びわこイチゴ部会で「みおしずく」目合わせ会を再度実施

1月12日、JA 東びわこイチゴ部会で「みおしずく」目合わせ会が実施されました。各生産者が持ち寄った「みおしずく」を見ながら、当課および市場担当者から、収穫適期の判断やパックから果実がずれ落ちないフィルムの貼り方、コンテナへの詰め方について説明しました。

今年度、湖東地域では1法人と9農業者が「みおしずく」を栽培し、11月末から収穫が始まりました。目合わせについては11月28日に県全体で、また12月8日にJA 東びわこイチゴ部会でも実施されましたが、市場出荷に不慣れな農業者が多く、従来品種である‘章姫’との色味の差に戸惑いも見られたことから、部会・JA 東びわこ・市場・当課が連携して再度、実施しました。

当課から、多く発生している症状とその対策について、市場からは、収穫適期について説明し、着色率80~90%で収穫すること、パックから果実がずれ落ちないフィルムの貼り方やコンテナへの詰め方について確認しました。

また、「みおしずく」販売促進に向けた取り組みとして、テレビ放送でのPRがされたことや県内量販店で開催予定のPRイベントに参加することが報告されました。

今後も、当課は、「みおしずく」の安定生産と生産拡大に向け、引き続き支援していきます。



多く発生している症状と対策について説明する普及指導員



持ち寄った「みおしずく」を見ながら目合わせ